

小児がん診療施設 情報公開

医療機関名	東邦大学医療センター大森病院	
住 所	東京都大田区大森西6-11-1	
施設ホームページ	http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/	
<<患者相談窓口>>		
名 称	総合相談・がん相談	
電 話	03-3762-4151	
F A X	03-3768-3620	
メールアドレス		
対応可能時間	月～金 10:00～16:00(予約制) 水17:00～21:00(電話のみ)	
<<医療機関相談窓口>>		
名 称	地域医療支援センター	
電 話	03-5763-6565	
F A X	03-5763-6573	
メールアドレス	renkei.omori@med.toho-u.ac.jp	
対応可能時間	月～金 8:30～17:00 土 8:30～14:00 (第3土曜日は休日)	

施設の特徴(アピール)	
現在5人のスタッフが血液腫瘍の外来、病棟を担当しています。入院中は抗がん剤治療や副作用により辛いこともしばしばですが、病棟スタッフや2名のCLS(チャイルド・ライフ・スペシャリスト)とともに、できる限りの肉体的精神的な苦痛を取り除き、子ども中心の医療を提供できるように心がけています。また学習が必要なお子さんには、養護学校(小学部・中学部)の先生に来ていただき週3回の訪問学級を行っています。	
診療受け入れ容量	
小児がん病床(対応可能数)	15(小児病棟)
集中治療床(うちPICU、HCU)	3(ICU)
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	◎
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)	○
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	小児科 小児外科

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2019			2018			2017		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	7～9	1～3	7～9	7～9	0	7～9	1～3	0	1～3
急性リンパ性白血病	1～3	1～3	1～3	4～6	0	4～6	0	0	0
急性骨髄性白血病	1～3	0	1～3	0	0	0	1～3	0	1～3
まれな白血病	1～3	0	1～3	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	0	1～3	1～3	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0	0	1～3	0	1～3	0	0	0
非ホジキンリンパ腫	1～3	0	1～3	1～3	0	1～3	0	0	0
ホジキンリンパ腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(HLH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(LCH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の組織球症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固形腫瘍	7～9	1～3	7～9	7～9	0	7～9	7～9	0	7～9
神経芽腫瘍群	0	0	0	1～3	0	1～3	1～3	0	1～3
網膜芽腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎腫瘍	0	0	0	1～3	0	1～3	1～3	0	1～3
肝腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軟部腫瘍	0	0	0	1～3	0	1～3	1～3	0	1～3
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	1～3	0	1～3	0	0	0	1～3	0	1～3
脳脊髄腫瘍	4～6	1～3	4～6	1～3	0	1～3	4～6	0	4～6
その他の固形腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の固形腫瘍(具休名)									

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

診療実績(入院数)	2019	2018	2017	2016	2015	2014
小児がん入院患者延べ数	47	51	44	72		
小児がん入院在院延べ日数	2,363	2,651	1,411	1,804		
全入院患者延べ数(施設全体)	21,935	22,438	22,446	22,315		
全入院患者入院在院延べ日数(施設全体)	286,254	298,412	288,200	293,191		

●小児がん診療施設の情報公開では、入院患者延べ数=患者入院延べ回数として集計を行っております。(がん患者さんが3回入院されれば3人となります)

診療実績(造血幹細胞移植)	2019	2018	2017	2016	2015	2014
同種造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
同胞間造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
家族間ハプロ造血細胞移植※	0	0	0	0	0	0
非血縁造血細胞移植	0	0	0	0	0	0
臍帯血移植	0	0	0	0	0	0
自家造血細胞移植	2	1	0	0	0	0
合計	2	1	0	0	0	0

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含まれます

死亡患者数	2019	2018	2017	2016	2015	2014
血液腫瘍	0	0	1	0	1	1
固形腫瘍	1	0	1	0	0	0
脳・脊髄腫瘍	1	2	0	0	0	0
合計	2	2	2	0	1	1

集学的治療実施体制(10例/年以上:◎、可能:○)	化学療法	手術	放射線
固形腫瘍(下記以外)	○	○	○
脳腫瘍	○	○	○
眼・眼窩腫瘍			
骨・軟部腫瘍	○	○	○

療養環境・支援	
面会時間	13時～21時
面会可能者	両親
集中治療室面会時間	24時間可能
面会可能者	両親、同胞、祖父母
付き添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、△夜間必要、▽その他(具体的に記載))	○
入院可能年齢	0歳～15歳

相談窓口	○
患者家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)	◎
代表的施設名	若草寮
患者同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)	
患者家族休憩室(◎予約不要、○予約要)	
院内患者家族会(名称、連絡先)	ひだまり親の会

院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	○
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
高校生への教育支援体制(◎:分教室、○:訪問教育)	○
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
就学前児童保育	

診療機能	
病理組織診断	○
放射線治療	○
臓器移植(対象臓器)	○ 腎
非血縁同種骨髄移植認定施設	
非血縁同種末梢血幹細胞移植認定施設	
臍帯血移植認定施設	○
輸血・細胞療法センター	○
集中治療部(◎小児専門もあり、○あり)	○
長期フォローアップ(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	◎
移行医療(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
緩和ケア(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
思春期・青年期がん診療(高校生以上)(◎実績あり、○可能)(対応可能年齢)(特色)	○

専門資格保持者(小児がん診療に実際に携わる人員)			
日本小児血液・がん学会 専門医	○	日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 指導医		日本看護協会 緩和ケア認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 暫定指導医	○	日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	○
日本小児血液・がん学会 認定外科医	○	日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	○
日本小児外科学会 専門医	○	日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	○
日本小児外科学会 指導医		日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	○
日本小児科学会小児科 専門医	○	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	○
日本小児神経学会 小児神経専門医		日本医療薬学会 がん専門薬剤師	○
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門		日本臨床細胞学会 細胞検査士	○
日本病理学会 病理専門医	○	日本医学放射線学会 医学物理士	○
日本血液学会 専門医	○	日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	○
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	○	日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士	○
がん治療認定医機構 がん治療認定医	○	日本病態栄養学会/日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士	○
がん治療認定医機構 暫定教育医	○	日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	○
日本放射線腫瘍学会 認定医	○	日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー	
日本緩和医療学会 緩和医療専門医	○	チャイルドライフスペシャリスト	○
日本緩和医療学会 緩和医療認定医	○	ホスピタルプレイスペシャリスト	
日本看護協会 がん看護専門看護師	○	子ども療養支援士	
日本看護協会 小児看護専門看護師	○	保育士	○
日本看護協会 地域看護専門看護師		ソーシャルワーカー	○

臨床研究(小児がん診療に関する試験数)	
臨床研究支援センター	○
参加臨床試験数(治験を除く)	8
治験実施(有○)	
治験実施内容	